

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年6月26日 (13:00～14:00)
------------------	-----	-------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	管理者/計画作成担当者/介護主任 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
-------------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	6 人	人	人	16 人

前回の改善計画
2023/7に開業2年になるため、当方は次の新しいステージに向けて出来ること、出来ないこと、出来ていないことを明確にし、利用登録者が安心して当方のサービスを受けられるよう、課題整理を行い利用者を中心に考えられるよう取り組んでいきたい。また、登録利用者の増加により、1日の通いサービス人数(15人)上限までの利用が想定される。一人一人の個を大切にしながら、スタッフ目線ではなく、利用登録者に必要なサービス提供を同じ目線で考えられるよう、日々のアセスメントを大切に、利用登録者の住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援していく。
前回の改善計画に対する取り組み結果
当方利用登録後、常に同じ状態を維持するというのは難しく、登録者の身体状況や生活状況の変化は避けて通れない道ではある。その中で、利用登録者にとって何が一番大切なのか、必要なことは何なのか等を本人ご家族一緒に考え、様々な困難にも対処できるよう、スタッフのアセスメント力向上と利用登録者の為に何が出来るかを考える力は、徐々に養われていると思う。その結果が介護度が高い利用者の受け入れを可能としている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	8			16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	10	6			16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	8			16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	9	7			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
登録利用者が2024/6下旬時点で21名前後。朝礼や終礼、スタッフミーティング、利用登録者判定会議等を通じ、顔が見える形での情報共有はもちろん、公休や業務都合で参加できないスタッフにも配慮した、書面での申し送り等、介護職員が登録利用者に寄り添い関わられるよう、サポートしていく体制を整えている。小規模多機能型居宅介護の「通い」「訪問」「宿泊」を当方スタッフが関わることによるメリットを活かし、登録利用者を中心に住み慣れた環境での生活を可能な限り継続できるように今後も行っていきたい。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
当方で受入れ調整を行うにあたり、自宅や病院等に出向き実態調査を行っているが、介護スタッフや看護スタッフも同行し、利用登録者の全体像をイメージの共有や把握できるよう調整している。その中で、当方スタッフの中には実態調査に出向いたことが無いスタッフもいるため、スタッフのスキル向上を図れるよう調整していく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用登録者25名を目指していく中で、私達支援者が先に、利用登録者が地域での生活継続を諦めることがないよう、今出来ることを考え支援していくことを意識して取り組んでいる。当方のサービス支援だけでなく、地域の社会資源を有効かつ効果的に活用できるよう、本人やご家族を中心に、「声」「思い」を大切に支援を行っていきたい。課題に直面した際はクローバーケアというチームで考えていけるよう、スタッフ個々のスキルを向上できるようにしていく。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年6月26日 (13:00~14:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	管理者/計画作成担当者/介護主任 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	9 人	7 人	人	人	16 人

前回の改善計画

介護職員内での役割を明確に行い、当方利用登録利用者の生活の質向上を目指しブラッシュアップを図っていく。また、当方で使用しているアセスメントシートの内容見直し等、介護スタッフが情報整理をしやすい環境を整えることで、関わりを持つ利用者との信頼関係構築にも繋がっていくと思われる。スタッフの意見を大事に取り組んでいきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果

現在介護主任1名、副主任3名体制を行い、各分野(サービス部門/リスクマネジメント部門/環境・園芸部門/感染症対策部門)での役割を全うできるよう体制を整えている。スタッフ間での情報共有を図る場面が増えており、利用登録者の自己実現の尊重にも繋がっている。今後も利用登録者の日常生活をよりアップデート出来るよう支援していく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	8	8			16
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	9	7			16
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	9	7			16
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	8	8			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
当方独自の各利用登録者のモニタリングシートを各介護スタッフが記入し、介護スタッフのアセスメント能力向上やスタッフ間の情報共有にも繋がっている。その情報を計画作成担当者を中心に看護・介護・調理・事務と連携を図り、チームケアの実践を図っている。また、利用登録者により利用しているサービス内容の違いはあるが、訪問看護サービス、訪問リハビリサービス、福祉用具貸与サービスの担当者と情報共有を図り、利用登録者の生活の質向上を図ることが支援出来ている。当方だけでの支援では限界があるため、常に広い視点で物事を考えるよう、スタッフに周知している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス担当者会議やモニタリングを通じて、利用登録者やご家族の意向を常に確認しているが、介護スタッフがサービス担当者会議に参加出来ないことがあり、書面のみでの参加に留まったこともあった。本人ご家族のスケジュールを調整し、顔が見える形でのコミュニケーションを図れるようにしていきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
当方では、利用登録者とスタッフの距離感が近く、当方の団是である「ご利用者様、ご家族様、職員が笑顔に」を実践出来ている機会も増えている。その中で、サービス内容が画一的にならないよう、利用登録者やご家族様の「声」を大切にしたいと強く思う。また、利用登録者のアセスメントにおいては、当方独自のモニタリングシートを各担当スタッフが記入し、介護スタッフのアセスメント能力向上及びスタッフ間の情報共有にも役立っている。モニタリングシートをよりアップデートを行いながら支援し、サービス担当者会議では顔が見える形での実践につなげていきたい。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年6月26日 (13:00~14:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	管理者/計画作成担当者/介護主任 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	10 人	6 人	人	人	16 人

前回の改善計画

介護職員内での役割を明確を行い、当方利用登録利用者の生活の質向上を目指しブラッシュアップを図っていく。また、当方で使用しているアセスメントシートの内容見直し等、介護スタッフが情報整理をしやすい環境を整えることで、関わりを持つ利用者との信頼関係構築にも繋がっていくと思われる。スタッフの意見を大事に取り組んでいきたい。

前回の改善計画に対する取り組み結果

介護主任・副主任を中心に現場の意見を当日の終礼までに集約し、計画作成担当者へ報告。翌日または次の利用までに課題解決を行う体制に変更。登録利用者の声及び現場の声が明確になり、連携を図れている一つの要因と思われる。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10 個以上把握できていますか?	12	4			16
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	12	4			16
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	8	8			16
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	8			16
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	8			16

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

昨年に引き続き、介護スタッフが事業所独自のモニタリングシートを記入し、主観的ではなく、客観的に利用者様に対し接することができるよう、チームケアを意識した取り組みを行っている。また、以前の暮らし方については、初回利用開始前に、事業所独自のアセスメントシートやライフサポートプラン内容にも計画作成担当者が記載することで、スタッフが情報収集できる体制は一昨年から引き続き継続をしている。朝礼や終礼、スタッフミーティング、利用登録判定会議等、職種間でよりタイムリーな情報共有を図り、本人ご家族とも協力体制を整えている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

利用登録者の増加により、介護スタッフの情報整理が不十分によるケアの統一が不十分に感じる場面は昨年度に続き課題である。介護スタッフに対しては、「気づき」を共有出来るような配慮を行い、支援していくことも必要と感じている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

当方では、利用登録者とスタッフの距離感が近く、当方の団是である「ご利用者様、ご家族様、職員が笑顔に」を実践出来ている機会も増えている。その中で、サービス内容が画一的にならないよう、利用登録者やご家族様の「声」を大切にしたいと強く思う。また、利用登録者のアセスメントにおいては、当方独自のモニタリングシートを各担当スタッフに記入し、介護スタッフのアセスメント能力向上及びスタッフ間の情報共有にも役立っている。モニタリングシートをよりアップデートを行いながら支援し、サービス担当者会議では顔が見える形での実践につなげていきたい。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年6月26日 (13:00~14:00)
------------------	-----	-------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	管理者/計画作成担当者/介護主任 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
---------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5 人	11 人	人	人	16 人

前回の改善計画
小規模多機能型居宅介護利用登録者の住み慣れた生活を継続していくためには、地域住民の協力なしでは成立しないことは十分理解している。まだまだ潜在的に埋もれている社会資源を有効活用できるよう、多くの協力者の賛同を得ていくことが、登録利用者の為に繋がっていくと思われる。コロナウィルス第5類移行に伴い、さまざまな人の集まる場に顔を出せるパイプ作りを実践し、更に多くの選択肢を持てるよう、取り組んでいきたい。
前回の改善計画に対する取り組み結果
利用登録者が生活している地域での協力者については、各地域包括支援センターと協力しながら必要に応じて情報を頂き協力体制を構築している。また、スムーズな連携を図れるよう、当方のビジネスLINEを活用し、タイムリーな情報共有を図っていた。前回の改善計画から1年が経過し、地域住民の協力なしでは住み慣れた地域での生活継続は困難であることを再認識できた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	6	10			16
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6	10			16
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	8	8			16
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	6	10			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
認知症高齢者に対する支援の一つで、利用登録者が行方不明発生時の連絡体制や捜索方法の共有等については、地域住民の協力を頂きながら支援させて頂いている。また、各地域包括支援センターとも情報共有を図り、より多くの目で利用登録者を支えている実感があり、早期対応や早期発見に繋がっている。常に先を予測した対応を確認し、常にアップデートを行っていく。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
運営推進会議等で当方の取り組み等を発信しているが、ブログ等でのSNSを活用した発信はまだ不十分であることを認識している。必要に応じて利用できるように体制を整えていく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
当方スタッフが地域住民との交流を図れるよう、地域に出向くきっかけ作りに着手していきたいと思う。現在、運営推進会議を中心に、避難訓練活動、体操教室への参加、地域の清掃活動だけでなく、地域住民と協力した形の行事の実施等を行ってきたい。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年6月26日 (13:00~14:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者/計画作成担当者/介護主任 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	10 人	6 人	人	人	16 人

前回の改善計画

2023/7より、対面開催での運営推進会議開催が可能となったことを受け、地域の有識者が当方へ集うことが可能になった現状を活かしていきたいと考えている。また、サービス担当者会議の開催頻度を利用者の状況等を考慮しながら可能な限り随時情報共有できる場を設け、さまざまな視野とより多くの意見を収集、共有できるよう改善していく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

2ヶ月に1回、運営推進会議開催を行っている。地域の有識者だけでなく、当方の利用登録者やご家族にも参加して頂き、当方の運営にご理解を頂けている。今後も運営推進会議開催を継続し、独居高齢者の支援や認知症高齢者の支援等、地域の課題解決にもつながる取り組みを行っていくよう、実践していく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	8	8			16
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	6			16
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	10	6			16
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	8			16

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

毎月のモニタリング実施により、利用登録者のニーズや意向の確認、ご家族との情報共有等を行っている。また、当方の「通い」「訪問」「宿泊」の利用をしていく中で、関わりの中で常にアセスメントとモニタリングを意識した支援により、利用登録者の変化にも柔軟に対応している。また、記録内容についてもケアプランに応じた内容以外にも記載されており、利用登録者の生活の質向上にも繋がっている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

利用登録者の増加により、介護スタッフの情報整理が不十分によるケアの統一が不十分に感じる場面は昨年度に続き課題である。介護スタッフに対しては、「気づき」を共有出来るような配慮を行い、支援していくことも必要と感じている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

今年8月、10月、翌年1月と年3回、小規模多機能型居宅介護3事業所における合同会議を予定している。実施目的は介護保険改正内容の確認や加算算定項目の実践内容の共有、事業所間での交流を深め必要に応じた相談体制を整えネットワーク作りに着手していく予定。また、事例検討会を行い、様々な意見等を確認しながらケアの質向上を目指していく。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年6月26日 (13:00~14:00)
------------------	-----	-------------------------

6. 連携・協働	メンバー	管理者/計画作成担当者/介護主任 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
----------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	12 人	4 人	人	人	16 人

前回の改善計画
登録利用者のサービス担当者会議やモニタリング開催等は、感染状況にも配慮しながら感染対策を実践しながら開催を継続していく。当方は小規模多機能型居宅介護サービスであることから、訪問看護や訪問リハビリ、福祉用具貸与業者の支援は必要不可欠である。また地域の民生委員や関係する介護保険外のサービス事業者の協力なしでは、利用登録者の住み慣れた地域での生活は成立しないことを念頭に置き、令和5年度も引き続き連携体制を継続していく。また、コロナウィルス第5類移行に伴い、会議や会合等、顔が見える場には可能な限り立ち会い、協力を求めるだけでなく、当方から出向き協力できるという側面を伝え、地域の一事業所としての役割を全うしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用登録者の他職種共同での支援については、当方のサービスだけでなくより多くの選択肢を利用登録者やご家族に考えて頂けるよう実践出来ていた。当方のスタンスとして、顔が見える関係作りに着手した結果、民生委員様をはじめとする地域住民の温かい支援が得られるようになってきている。今後も継続して取り組んでいきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	10	6			16
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	6	10			16
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	6	10			16
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	14	2			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
気軽に足が運べる場所として、小中学校の児童生徒がトイレ休憩や怪我等での処置等で来訪される機会は徐々に増えている。また地域包括支援センター主催の地域ケア会議においては、杉妻地域包括支援センターにて事例発表会を行い、当方の取り組みについて知って頂く機会も増えている。今後も様々な当方に協力して頂く事業所並びに地域住民と協力体制を図っていきたい。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域のイベントへの参加については、まだまだ不参加で経過することが多い。日程調整を図り、参加を図っていきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後も更なる地域に開かれた事業所を展開できるよう、SNSを活用したブログの充実やホームページのアップデートを行っていく。また、より多くのスタッフが地域を身近に感じてもらえるよう、イベントへの参加には積極的に行っていく。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年6月26日 (13:00~14:00)
7. 運営	メンバー	管理者/計画作成担当者/介護主任 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	10 人	6 人	人	人	16 人

前回の改善計画

コロナウィルス第5類移行に伴い、運営推進会議の対面開催が実現できた為、今後も顔が見える形での開催を続け、地域の有識者との意見交換の場を設けていく。また、当方主催での地域住民向けの研修会開催や催し物の共同開催等、地域に必要な取り組みを率先して行えるよう、事業所としての体制を整え、信頼と安心を届けられるよう、当方の運営を行っていく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

試行錯誤を重ねながら、地域の有識者と共に当方の運営状況の共有や地域課題についての対話が、運営推進会議を通じて実践出来ている。事業所としての方向性の確認と体制を整え、安心と信頼が徐々に積み重なっていることを実感している。今後も継続して取り組んでいきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	10	6			16
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	10	6			16
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	10	6			16
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	10	6			16

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

当事業所では「ご意見報告書」を活用し、利用者様やご家族様からの意見を全スタッフに周知出来るよう活用している。ご意見報告書については、利用者様やご家族様からの声を大切に、よりよい質の高いサービスが提供できるよう、朝礼や終礼等のミーティングで対策を検討し、スタッフ全員で課題解決に取り組んでいる。また、地域の声を確認できるよう、可能な限り顔が見える関係づくりを意識した取り組みとして、「クローバーケアから街を綺麗に」を実践し、事業所周辺の清掃活動に力を入れている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

蓬莱3丁目内の町内会への参加は出来ていない。今後地域住民と対話を重ね、スケジュール調整を含め参加できるようにしていきたい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

モニタリングは毎月1回必ず実践しているが、現在よりもさらに利用登録者の「声」「思い」を反映できるようにモニタリングの内容をアップデートしていきたいと考えている。当たり前のことを当たり前とは思わず、常に聞く力を大切に行い、様々な声に耳を傾けて利用登録者の支援を充実させていく。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年6月26日 (13:00~14:00)
------------------	-----	-------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	管理者/計画作成担当者/介護主任 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
-----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	14 人	2 人	人	人	16 人

前回の改善計画
避難訓練においては、当方登録利用者が参加型による実践的な避難訓練は実施していたが、地域密着型施設にも関わらず、近隣住民との火災等の災害時の連携体制が不十分のままであった。コロナウィルス第5類移行に伴い、R5.10開催することを地域の有識者に報告済。連携体制と課題整理の確認を行い、利用登録者の安心安全に努めていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果
避難訓練については、いずれの実施においても利用登録者やご家族、地域住民の参加協力を頂き、実践的な訓練を行うことが出来た。反省点や課題については、当方スタッフだけでなく運営推進会議を活用し、より多くの地域住民に当方の取り組みを知ってもらえるように配慮した。結果、地域住民との融和にも繋がっていると思われる。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8	8			16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	12			16
③	地域連絡会に参加していますか	2	14			16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	14	2			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域住民との避難訓練の実施を行い、地域と福祉はより密接に考えていかなければならないことを伝えることができた。また、より多くの方に高齢者施設を知ってもらいきっかけになったのではないかと思います。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域ケア会議には参加出来ているが、地域連絡会への参加が不参加の場合もあり、不十分であるのが現状。スケジュール調整を図り参加できるようにしていく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修会への参加については今年度の重点項目として取り組んでいる真っ只中である。また当方介護スタッフの介護福祉士取得に向けた支援を強化し、介護スタッフのスキルアップとサービスの質向上を目指していく。また、リスクマネジメントを筆頭に、当方の組織として顧客満足度の向上や感染症対策、環境整備等をより充実したものとするよう取り組んでいく。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年6月26日 (13:00~14:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	管理者/計画作成担当者/介護主任 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑥ 前回の課題について取り組みましたか?	人	16 人	人	人	16 人

前回の改善計画

成年後見人制度については、当方では相談を行ったが、実際に活用している利用登録者は不在。今後必要な方に成年後見人制度を活用していく際には、各専門分野の有識者に意見と求め、利用者の方に必要な情報を提供できるよう、当事業所として研鑽していく。また、利用者との顔が見える体制を継続し、登録利用者の方が安心して日々の生活を送れるよう支援していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

成年後見人制度については、引き続き検討中の利用登録者の方は存在しているが、権利保護センター担当者と必要に応じて連絡を図りながら相談体制は構築していた。今後は実際に制度を利用するとなった時点で、速やかに移行できるよう取り組んでいく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	16				16
② 虐待は行われていない	16				16
③ プライバシーが守られている	14	2			16
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		16			16
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	16				16

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

高齢者虐待防止への取り組みについて、スタッフの勉強会参加等学びの体制を整えている。また、介護スタッフ役職者への役割分担を行いながら、スタッフのスキル向上を行っている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

成年後見人制度の活用を検討している利用登録者はいるが、現時点では本人と相談の上で制度活用については見送りとしている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

令和6年度より、高齢者虐待防止の強化について明確な実施を求められているにあたり、当方でも委員会の活動や勉強会の開催参加等、スタッフのスキル向上と研鑽を行っていくよう、学びの体制を整えていく。また多様化する社会において、プライバシーへの配慮や適正な情報管理については、SNSやブログの充実と並行して行っていきたい。

(別紙2-4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社トリプルエー	代表者	法人・事業所の 特徴	ご利用者様が可能な限り住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図り、ご利用者様が生きがい感に充たされた暮らしを培うことが出来るよう、生活全般にわたっての支援を行うことを目的としている。また、「ご利用者様、ご家族、職員が笑顔に」を実践できるよう、地域に密着した施設づくりを行い、認知症への理解を深め、その人らしい生活を送れるよう支援している。
事業所名	クローバーケア福島・蓬莱	管理者		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	人	2人	2人	2人	人	2人	人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	別紙(2-2)に今回の改善計画を記載済。	別紙(2-2)に前回の改善計画に対する取り組み結果を分野ごとに記載済。	今後も地域との連携を強化できるよう、協力していきたい。各スタッフの方それぞれの役割を全うできるよう、頑張ってもらいたいとの意見を頂戴する。	別紙(2-2)に今回の改善計画を記載済
B. 事業所のしつらえ・環境	当方の環境整備には尽力出来ているが、「クローバーケアから街を綺麗にする」という当方のミッションが出来るよう、環境整備に努めていく。	毎週木曜日8時45分～9時00分に、当方周辺の清掃活動及び、環境整備をスタッフと利用者が協力して行っている。運営推進会議でも実施状況を報告済。	「クローバーケアから街を綺麗にする」というミッションは、徐々に浸透してきていると思います。これからも地域に欠かすことが出来ない事業所となるよう頑張ってもらいたいとの意見を頂戴する。	「クローバーケアから街を綺麗にする」というミッションが自然な形で出来るよう、清掃活動だけでなく、SNSを活用した発信も行い、蓬莱地域だけでなく多くの方に身近に感じてもらえるよう実施していく。
C. 事業所と地域のかかわり	当方敷地内には自動販売機があるが、地域住民の憩いの場となれるような環境作りを行っていく。またウォーターペットやドクターマー等のリラクゼーション機器使用を通じ、事業所内を多くの方にみてもらえるよう取り組んでいく。	蓬莱地区の小中学生が下校時に怪我の為来所されることや、トイレ使用等柔軟に対応している。また避難訓練実施時には、地域の方にも参加して頂き、当方をより身近なものに感じて頂けるよう取り組んでいる。	小学校や中学校との関わりをもっと増やしていけるよう出向いてはどうか？との意見を頂戴する。早期に訪問できるよう調整し、地域と福祉の密接な関係作りを構築できるようにしていく。	蓬莱地区の小学校や中学校に出向き、福祉を身近に感じてもらえるような出前講座の実施や、地域住民と協力した形での当方主催の行事の実施等、行えるよう取り組んでいく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	蓬莱地域のSunSunカフェへの参加、その他周辺地域の活動に積極的に参加し、利用者個々にあった活動参加を促せる取り組みに力を入れていきたい。	蓬莱3丁目の体操教室には不定期ではあるが参加させて頂き、地域住民と当方利用者並びにスタッフの交流機会を図っている。	昨年に引き続き、代表者が民生委員をされている地域の茶の間「ふるさと」様との連携を図ることで、蓬莱地域の民生委員様との連携は強固なものになり、認知症高齢者が地域での生活を継続出来るように実施していることがおえている。今後も継続していけると良いと思われる。	今後も可能な限り蓬莱3丁目の体操教室への参加を行うこと、地域のスーパーやホームセンターでの日用品の買い物支援等を通じ、顔が見える関係作りにも今後も尽力していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域の有識者への参加を多く募ることが出来るよう、民生委員さんの協力を頂きながら、当方が地域に求められる役割を明確にしていく。また、地域に欠かすことが出来ない事業所となるよう、スタッフと共に協力体制を構築していく。	運営推進会議の議事録等(避難訓練も含め)を町内の有識者会議にて閲覧して頂き、また参加されている民生委員様より、当方の活動内容について報告して頂いている。	クローバーケアが横の繋がりを広げながら、地域との繋がりを大切に行い、常に前向きに様々なことに取り組んでいることは十分伝わっている。今後も地域との協力体制を大切にもらいたいとお話しを頂戴する。	蓬莱地域包括支援センター主催の地域ケア会議への参加もしていく中で、当方利用者の事例検討会等を当方で主催し、地域住民と介護について考える機会を設けていく。
F. 事業所の防災・災害対策	BCP作成を早期に完了し、実際の災害時に活用できるものかを検証し、アップデートを重ね、地域住民との連携と情報共有を図っていく。	年2回の避難訓練実施時は、地域の住民並びに民生委員様の参加、利用者様のご家族にも協力頂き、防災意識を高める機会を設けている。回を重ねるごとに、参加利用者からは「こうやって全員で参加できる機会が良いことだ」と理解を示される発言も増えている。	避難訓練が実践内容で良いと思う。実施する度に改善が図られ、スタッフが積極的に参加していること、利用者同士助け合う様子も見られ良いと思うと同時に、夜間帯の避難の難しさも感じた。今後の課題と思われる。	避難訓練については今後も多くの地域住民に参加して頂くよう取り組んでいくが、BCP計画の強化を図っていけるよう、内容の見直しを常時行い対応していく。